

第4節 社会体育

現状と問題点

健康づくり体力向上への関心が高まっている現在、生涯スポーツとしてこれまでの競技スポーツに加え、軽スポーツ（レクリエーション的スポーツ）への関心も高まっており、スポーツに対する欲求は多様化しています。

町内のスポーツ人口は年々増加傾向にあり、町内各種大会への参加、スポーツクラブやサークル活動、地区公民館のスポーツ活動の目的が健康づくりや仲間づくりに重点が置かれるようになっていきます。これに対するスポーツ施設は、学校施設の開放（若干の制約あり）をはじめ諸施設の整備による利用は促進されているものの、まだ一部の人への片寄りがあります。また、団体育成、地域スポーツの指導者の育成、底辺拡大等課題も多くあります。

<表4 - 12> スポーツ事業参加者数

平成11年度

区 分	参 加 者	備 考
ス ポ ー ツ 教 室 各8回（1回2時間）	延 80人	卓球 6月、7月 テニス 8月～10月 社交ダンス 10月 バドミントン 2月～3月
軽スポーツ・体力づくり等	延 450	ソフトバレー 4月 スポ・レク祭 5月 グラウンドゴルフ 7月 ゲートボール 9月 うおーくウォーク 10月 かけりやこう 1月
マラソン・駅伝等	延 1,000	東郷湖マラソン 8月 町内一周駅伝 11月
各 種 球 技 大 会	延 800	軟式野球 4～6月、10月 バレーボール 6月 ソフトボール 11月 バスケットボール 12月 卓球 3月 バドミントン 3月
郡 体 ・ 県 体 派 遣	延 525	郡体465人（三朝） 7月18・24・25日 男子総合6位 女子総合5位 県体 60人（倉吉） 8月28・29日

<表4 - 13> スポーツクラブ（町体協加盟）の現況

平成11年度

区 分	クラブ数	会 員 数	区 分	クラブ数	会 員 数
陸 上	1	48人	テ ニ ス	1	40人
バドミントン	2	51	ゲートボール	1	31
柔 道	1	15	グラウンドゴルフ	1	144
バスケットボール	2	59	軟式野球	8	120
バレーボール	2	43	卓 球	1	14
ソフトテニス	1	65	合 計	21	630

<表4 - 14> スポーツ施設の現況

平成11年度

区 分	学 校 施 設		社 会 体 育 施 設	
	施 設 数	施設数	備 考	
水 泳 プ ー ル	3 (北溟中、東小、西小)	-		
体 育 館	3 (北溟中、東小、西小)	1	町民体育館 (936 m ²) (アリーナ 800m ²)	
屋 外 運 動 場	3 (北溟中、東小、西小)	-		
(野 球 場)	1 (北溟中)	(1)	(羽合勤労者体育センター 10,963 m ²)	
テ ニ ス コ ー ト	1 (北溟中)	-	(県営コート 8面)	
ス ポ ー ツ 広 場	-	6	下長瀬 (600m ²) 田 後 (1,000m ²) 上長瀬 (780m ²) 下浅津 (400m ²) 橋 津 (1,572m ²) 宇 野 (1,983m ²)	
多 目 的 広 場	-	(1)	(県営広場 8,752.94m ²)	
ハ ワ イ 夢 広 場	-	(1)	(県営屋根のある広場 2,451m ²)	
ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	-	(1)	羽合町農林漁業者トレーニングセンター (800m ²)、 ハワイ元気村 (678m ²)	
ゲ ー ト ボ ー ル 場	-	(1)	(県営コート 7面)	
河 川 敷 広 場	-	(1)	天神川河川敷広場 32,300m ²	

スポーツ施設現況図挿入

計画の方向

町民の親睦と生涯スポーツの推進を目指し、心身の健康と豊かな生活、うるおいのある地域の社会形成と、「町民一人・1スポーツ」を目標に、次の事業を推進します。

体育指導委員活動の充実を図り、軽スポーツ大会、健康体操教室を開催し、町民に根づくスポーツの振興に努めます。

体育協会活動の活性化を促し、これを中心にスポーツクラブ、スポーツ少年団の育成強化と連携を進め、スポーツ人口の拡大に努めます。

地区公民館と区との協力体制を図り、町民が進んで参加できる大会の推進をします。

団体組織のリーダー並びにスポーツ指導者の養成を図るとともに、社会体育及び健康づくりに関する情報提供の一層の充実を図ります。

町民体育館の抜本的な改修をはじめ、社会体育施設、学校体育施設の充実を図るとともに、有効な活用を推進します。

野球場等の使用については、東郷町・泊村との3町村公共施設の共同利用を実施し町民並の使用料の設定・大会の共同開催等を行い各種スポーツの振興・施設使用の充実を図ります。

<表4 - 15> 社会体育施設等の整備計画

区 分	平成13～17年度			平成18～22年度	
	事業内容	事業主体	事業費	事業内容	事業主体
町民体育館改修工事	-	-	-	改修工事	町

第5節 文化財保護、文化振興

現状と問題点

1. 文化財保護

本町の歴史は古く、数多くの歴史的文化遺産に恵まれています。国指定文化財をはじめ、県・町を合わせると指定文化財は12件を数えます。

これら指定文化財の保護対策として、早急な対策が迫られていた橋津藩倉の保護対策として、平成10年度には「古御蔵」を買い取り、一時的な整備も実施しました。今後は、橋津藩倉保存活用検討委員会の意見を踏まえて、残る2棟の早急な保存活用対策が必要です。

また、保護対策だけに止まらず、住民の文化財や歴史に対する意識の高揚を図る対策も必要です。従って、歴史民俗資料館の活用や各種講座等の積極的な取り組みも必要です。

なお、重要文化財に指定されている埴輪については、一応の修復は実施しましたが、今後はその重要性をより一層啓発していく必要があります。

また、ハワイ風土記館については、年間約1万人以上の観光客が訪れており、観光・文化の発信拠点として様々な取り組みが必要です。

<表4-16> 国・県及び町指定文化財

施設・名称	指 定 状 況
伯耆長瀬高浜遺跡出土埴輪一括	昭和61年 6月 6日 国指定 重要文化財
橋 津 古 墳 群	昭和32年 6月 3日 国指定 史 跡
鳥取藩台場跡橋津台場跡	昭和63年 7月27日 国指定 史 跡
尾 崎 氏 庭 園	昭和12年12月21日 国指定 名 勝
田後神社頭屋祭「宮の飯」	昭和61年 4月18日 県指定 無形民俗文化財
長瀬高浜遺跡玉作関係資料一括	平成 4年 4月14日 県指定 保護文化財
エ ノ キ	昭和56年 6月 1日 町指定 天然記念物
トウテイラン自生群落	昭和52年 3月 町指定 天然記念物
茶 町 お ど り	昭和56年 6月 1日 町指定 無形民俗文化財
宇 野 三 ツ 星 盆 踊 り	昭和61年 4月 1日 町指定 無形民俗文化財
鳥取藩橋津藩倉「三十間北蔵」	平成 8年11月13日 町指定 有形文化財
鳥取藩橋津藩倉「古御蔵」	平成10年 3月23日 町指定 有形文化財

<表4 - 17> 羽合町歴史民俗資料館入館者数

区 分	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	合 計
延人数	1,268	1,455	1,223	1,194	992	6,132

2. 文化振興

文化事業については、平成9年にオープンしたハワイアロハホールの各種芸術文化事業をはじめ、羽合町中央公民館でも小規模ながら実施されています。芸術文化に触れる機会はアロハホールの開館により飛躍的に向上したと言えます。しかしながら、住民の自主的な文化活動は低調と言わざるを得ません。

このような中、平成14年に鳥取県で国民文化祭が開催されることになり、羽合町でも俳句大会と文芸の合同大会が開催されます。この機会を契機に住民の文化に対する意識の高揚と地域文化の振興を図る必要があります。

また、国際交流をキーワードとして、フラダンスやウクレレの自主的な活動が見られ、新しい活動として注目されます。

<表4 - 18> 文化サークルの現況

平成11年度					
区 分	サークル数	会員数	区 分	サークル数	会員数
囲碁・将棋	1	20	切 手	1	10
民 謡	1	10	踊 り	5	275
茶 道	1	8	社交ダンス	1	10
絵 画	1	9	気 孔	1	10
書 道	1	15	国 際 交 流	1	20
陶 芸	2	28	ウクレレ	1	10
コーラス	1	20	フラダンス	1	20
歴史研究	3	20			
尺 八	1	3	合 計	23	488

文化財分布図挿入

計画の方向

1. 文化財保護

町内の数多くの歴史的遺産を後世に伝え、その保存活用を図ります。

また、地域住民の文化財に対する意識の高揚に努め、歴史文化のまちづくりを推進します。

橋津藩倉の保存活用を図ります。

(三十間北蔵の解体移転などの保存対策と資料収集等の推進)

長瀬高浜遺跡の埴輪をはじめとする地域の文化財を積極的にPRするとともに看板等を年次的に整備します。

地域の伝統行事等無形民俗文化財についてその保護を行なっている団体を育成して継承に努めます。

歴史民俗資料館、ハワイ風土記館の活動の充実に努めます。

<表4 - 19> 文化財保護施設等の整備計画

区 分	平成13～平成17年度			平成18～平成22年度	
	事業内容	事業主体	事業費	事業内容	事業主体
橋津藩倉保存活用事業	三十間北蔵の解体移転整備 片山蔵の保存整備 関係資料の収集 住民の意識啓発事業	町	70,000 千円	橋津藩倉の管理運営 藩倉のPRと意識高揚事業 の推進	町

2. 文化振興

町民一人ひとりが郷土の文化や文化財に親しみ、快適で文化性豊かな生活が送れるような文化のまちづくりを推進します。

平成14年開催予定の国民文化祭を成功させるため、その諸準備はもちろん、住民の意識啓発を図ります。

自主的なサークルの育成に努め、交流や合同発表会等を実施するため、(仮)文化団体協議会の設立を検討します。

郷土愛を醸成するため、学校教育、社会教育のあらゆる場面での郷土学習機会の提供を推進します。

公民館まつりをはじめとして、住民の学習成果の発表機会を積極的に提供します。ハワイアロハホールを町民の芸術文化の憩いの場とし、優れた芸術鑑賞の機会や文化情報の交流の場として提供をします。

<表 4 - 20> 文化振興施設等の整備計画

区 分	平成 1 3 ~ 平成 1 7 年度			平成 1 8 ~ 平成 2 2 年度	
	事 業 内 容	事業主体	事業費	事 業 内 容	事業主体
国民文化祭開催事業	俳句会場 文芸会場	町	千円 16,000		